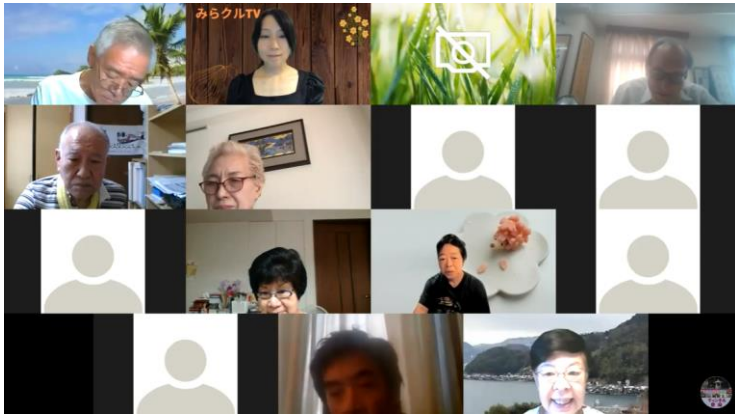


— Gallery —

みらくる TV 特別番組	87頁
竹灯かり制作ワークショップ	91頁
開会式・点灯式など	96頁
第2回 誰でも囲碁大会	104頁
鎮魂と希望の世界音楽祭	108頁
防災フォーラム／口笛の演奏	113頁
屋外イベント	116頁
第8回 碁石海岸で囲碁まつり	119頁



— 第11回首都防災ウィーク特番（みらくルTV） 1 —



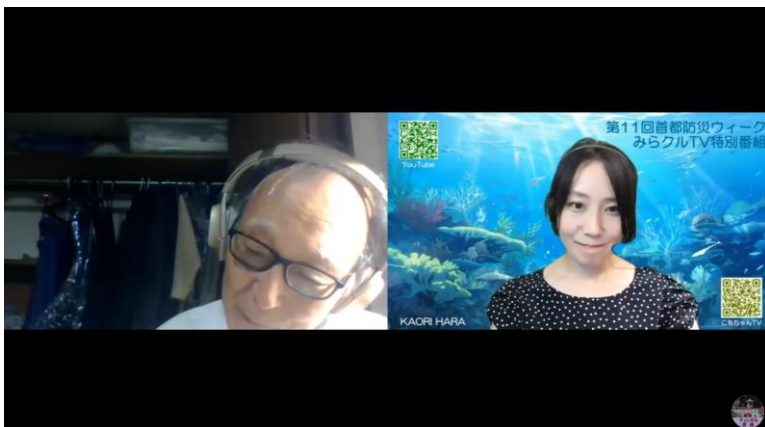
230821

感開幕 SP1 東京と大船渡、心の連携 ～明日に向かって



230821

開幕 SP2 第11回首都防災ウィーク ～今年の見どころ



230822 首都防災ウィーク 10年の歩み



230823 竹灯かり制作を振返って



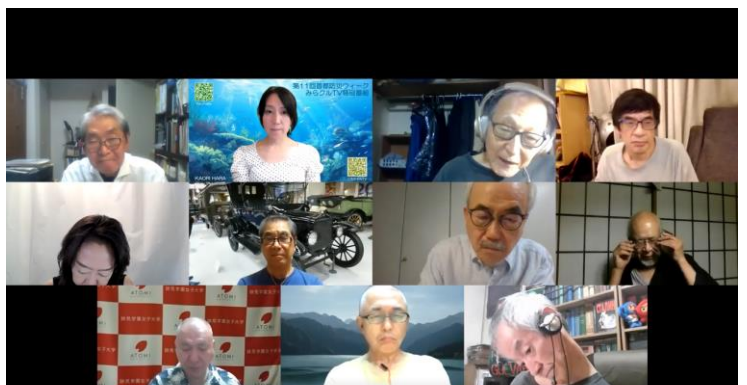
230824 囲碁・障害・防災を語ろう
～第2回誰でも囲碁大会に向けて



230825 土屋の防災～要配慮者の防災について



230826 防災俳句のクイズで遊ぼう
～防災穴あき俳句 藤村望洋（俳句のARC主宰）

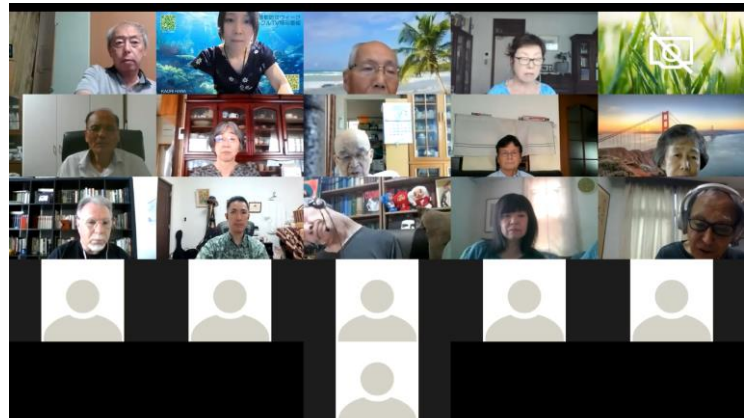


230826 耐震補強と家具固定が生命を守る

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（みらくルTV） 2 －



230827 朝の体操 原香織&Mikumi



230827 世界誰でも囲碁大会 in Zoom

海外での活動がWASENDの原点



2004年スマトラ島沖地震

日本の震災の経験を海外の子どもに伝える
↓
海外の被害を減らすことにつながる

↓

WASENDの設立



230828 We Are WASEND ～世界一受けたい防災授業

首都を襲う巨大水害 江東0m地帯を歩く



江東5区広域避難推進協議会ハザードマップ

江東5区マイナス地域防災を考える会 北砂アカデミア防災塾 海洋観光研究所 中瀬勝義



230829 首都を襲う巨大水害
-砂町地区水害避難支援システムづくり



230830 事前復興と食料増産(漁業振興)の切札 ～シティ
コン海底山脈とは何か? 1



230830 事前復興と食料増産(漁業振興)の切札 ～シティ
コン海底山脈とは何か? 2



230831 視覚障がい者への囲碁入門講座（防災編1）



230901 秋季大法要



受賞者：首都防災ウィーク実行委員会

230901 関東大震災100年の集い
in 第一ホテル両国



230901 第121回こもちゃんTV～災害時の補助犬の役割



230902 高次脳機能障害と囲碁療法の可能性

5.集合住宅の注意点

○集合住宅は共用部分と専有部分

- ・ 専有部分の備えは戸建住宅と同じ
- ・ 共用部分は管理組合で、集合住宅固有の課題を把握しよう
- ・ 地震：構造のチェック
築年、工法、高さ、ピロティ
(少ない壁・柱で上階を支える)
- ・ 洪水：ハザードマップを読む。
ポンプ室の位置、
入口・EVの止水など
- ・ 暴風雨：これからは飛来物対策用のシャッターなどがあると良いが

230902 自然災害に備える住まいづくりの勘所 UIFA JAPON



230904 首都地震～マンション住民が大ピンチ??



230905 国難級災害からの復興の備え
～被災地と国土の事前復興



230906 誰一人取り残さない防災への取り組み
災害復興まちづくり支援機構



230907 視覚障がい者への囲碁入門講座（防災編2）

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（みらくルTV）－ 4 －



220908 第122回こもちゃんTV
～災害時用の非常食もフードリカバリーしよう 1

220908 第122回こもちゃんTV
～災害時用の非常食もフードリカバリーしよう 2



第11回首都防災ウィーク「配信済み動画」はコチラよりどうぞ

「シティコン海底山脈構想」シティコン（都市のコンクリート塊）を資源として活用して人工海底山脈を建設し、漁業振興、カーボンニュートラル、首都直下地震等からの迅速で創造的な復興を実現



みらくルTVとは・・・

みらくルTVは、日本初の完全双方向オンラインテレビ局であり、ウェブサイト、Zoom、YouTubeを連動しています。この名前は「未来」「希望」「連携」を表しています。出演者もスタッフもすべてがボランティアで、それぞれが献身的に番組を作成しています。

みらくルTVは、さまざまなテーマやジャンルの番組を提供しており、高次脳機能障害や障がい福祉、健康・体操、防災・耐震・危機管理など、多様な視聴者層に向けて情報やエンターテインメントを届けています。また、ゲスト出演者やシンポジウムなど、興味深いコンテンツも豊富にあります。

みらくルTVの公式ウェブサイトでは、番組の視聴や最新記事、イベント情報などを提供しています。さらに、YouTubeチャンネルでも番組の配信を行っています。

興味があれば、公式ウェブサイトやYouTubeチャンネルで番組を視聴してみてください！

— 第 11 回首都防災ウィーク特番（竹灯かり制作） 1 —



大船渡での竹の切り出し 東京への搬送の日



大船渡からの竹を楽しみに待つメンバー



青柳さんと中川さんの運転で竹が到着～！



100本の竹をトラックからおろします



おろした竹を前に記念撮影 パシャリ！



竹を並べて洗います



準備の日からみなさん気合い入ってます

— 第 11 回首都防災ウィーク特番（竹灯かり制作）2 —



洗って乾かした竹を南側側室に入れます



長さ別に分けた竹の節を抜いていきます



竹の計測の仕方を話している所



計測された竹の余分な部分を使える形にカットします



お昼休憩 しっかり食べて午後もがんばろう！



小さい竹は好きな型紙を貼って穴をあけます



みなさん楽しくワークをすすめています



竹を組み立てる時の竹支柱を研いでくれています

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（竹灯かり制作） 3 －



毎日ワークショップのはじまりにはお堂に礼をします



本日の流れを説明します



ワークショップの後には防災トークを聞きました



最終日に近い所は竹の組立てと最後の仕上げ



LEDの配線の部分は慎重に丁寧にすすめます



開会式の日 組立てた竹を掲出する前に説明を聞きます



組立てた竹を設置 重石もしっかり置きます



誰でも囲碁大会の日も再掲出をしてくれていました

— 第 11 回首都防災ウィーク特番（竹灯かり制作）4 —



7月29日集合写真



7月30日集合写真



7月31日集合写真



8月1日集合写真



8月3日集合写真



8月4日集合写真



8月5日集合写真



8月7日集合写真 AM



8月7日集合写真 PM



8月8日集合写真



8月9日集合写真



お堂に礼



ワークショップ最終日 8月10日集合写真

— 第 11 回首都防災ウィーク（開会式準備） —



受付 受け入れの準備



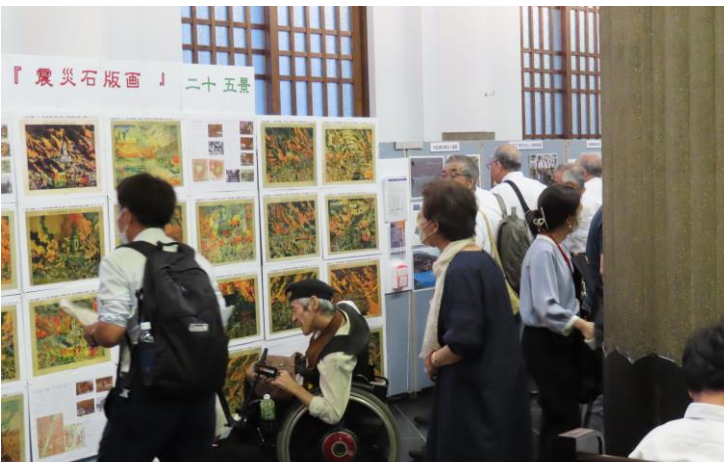
受付 徐々にご来場の方がいらっしゃいました！



受付 徐々にご来場の方がいらっしゃいました2



受付 徐々にご来場の方がいらっしゃいました3



吉川さんの震災石版画に見入る方たち



入り口付近では、コンサートのリハーサル



WASEND のみんなもそわそわと時を待ちます



開会直前、席が埋まって来ました

— 第 11 回首都防災ウィーク（開会式・来賓挨拶） —



ご来賓の方々 |



自由民主党 衆議院議員 務台俊介氏



立憲民主党 参議院議員 川田龍平氏



日本維新の会 衆議院議員 小野泰輔氏



公明党 参議院議員 塩田博昭氏



国民民主党 参議院議員 磯崎哲史氏



日本共産党 参議院議員 山添 拓氏



墨田区立両国中学校 渋谷俊昌校長

— 第11回首都防災ウィーク（開会式・感謝状授与） —



竹灯かり制作ボランティア感謝状 大学生スタッフ 1



竹灯かり制作ボランティア感謝状 大学生スタッフ 2



中高生のみなさん 1



中高生のみなさん 2



安田学園中学校・高等学校 稲村隆雄校長



桜東京パイロットクラブの皆さん



首都圏三陸大船渡人会の皆さん



司会：岡野谷純さん 手話通訳：佐野和子さん

— 第 11 回首都防災ウィーク特番（点灯式） 1 —



開会式後は外に出て竹灯かり点灯式



小さなぼんぼり型の竹灯かりに皆で火を入れます



400本のぼんぼり型 安全確認をしながら



点いていない所はないか



50本くらいのチャッカマンで徐々に火が入ります



石の通路の両サイドを光で灯します



みんなで作った思い思いのデザイン



ぼんぼり型は階段中央・両サイドでも点灯

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（点灯式、記念演奏） 2 －



点きにくい竹にも熱心に火を入れてくれています



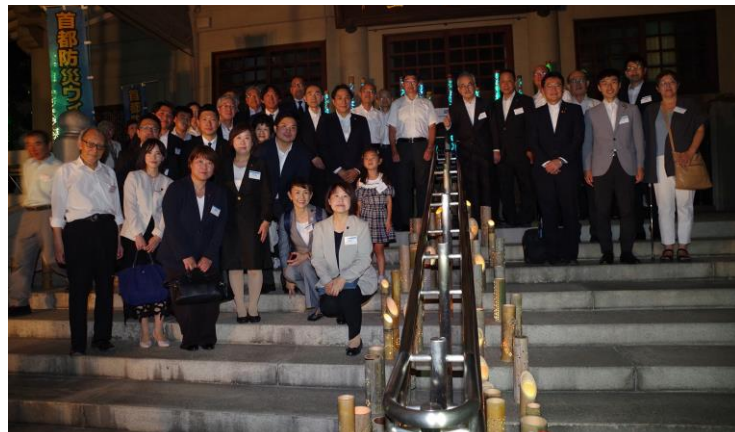
ご来賓の方々にテープカット リーダー横内さんが点灯！



幻想的な竹灯かりを前に 記念コンサート 1



幻想的な竹灯かりを前に 記念コンサート 2



来賓の方々と記念撮影 1



来賓の方々と記念撮影 2



一斉に灯っている美しい竹灯かりに見入るひと時 1



一斉に灯っている美しい竹灯かりに見入るひと時 2

— 第11回首都防災ウィーク特番（点灯式、感謝状授与） —



斜めカットの竹を集めてお花風にしました



WASENDの皆さん Wポーズで撮影



そろそろ撤収の準備です



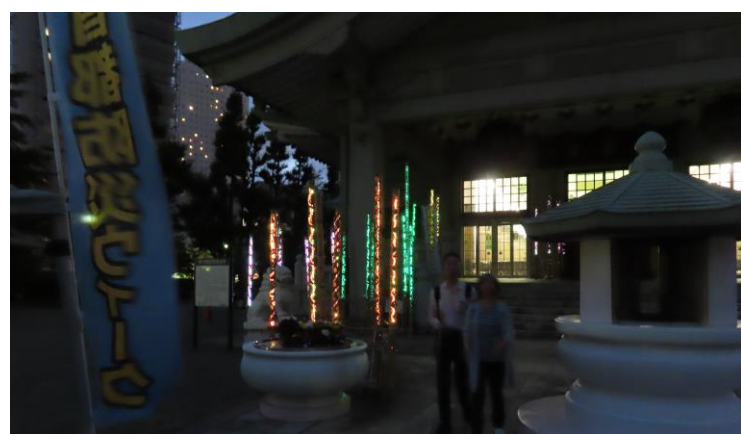
竹灯かりボランティアをした方は中へお入りください



南側側室では感謝状の授与がされました 1



南側側室では感謝状の授与がされました 2



開会式・点灯式終了後の慰霊堂



無事に最終日まで灯ってくださいように！

— 第 11 回首都防災ウィーク（開会式後の交流会） 1 —



— 第 11 回首都防災ウィーク（開会式後交流会） 2 —





受付のみなさん 1



受付のみなさん 2



誰でも囲碁大会実行委員長 柿島光晴 挨拶



学生さん達も楽しそうです！



日本棋院2階の会場 後方より



誰でも囲碁大会実行委員長 柿島光晴 挨拶

— 第 11 回首都防災ウィーク特番（第 2 回誰でも囲碁大会）2 —



白石先生の棋力アップ講座



会場の様子



水間先生と Mikumi さん 石がたくさん並んでいます



木谷さんも真剣モード



岩崎晴都くんと品田さん |



柿島光晴さんと学生さん達



水間俊文先生の入門講座



岩崎晴都くんと品田さん 2



女子会



多世代での囲碁交流 1



聖成さん色々な机を周られています

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（第 2 回誰でも囲碁大会） 4 －



柿島さん色々な所に引っ張りだこ 1



多世代での囲碁交流 2



最年少参加賞 2



柿島さん色々な所に引っ張りだこ 2



真剣モードです

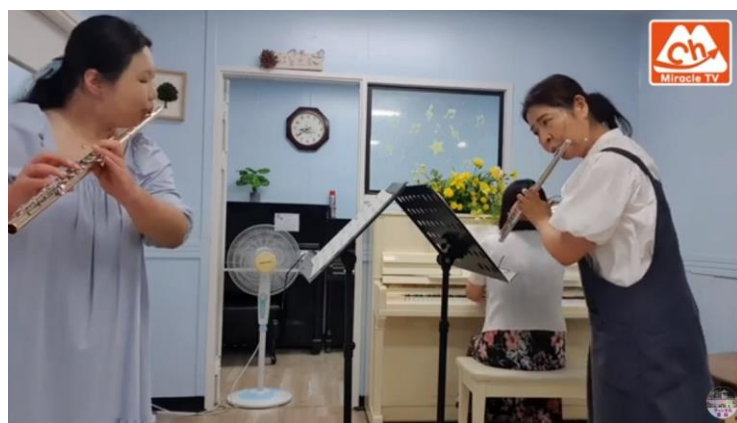
— 第 11 回首都防災ウィーク特番（世界音楽祭） 1 —



手話通訳 佐野和子さん 開会の挨拶 原香織さん



和太鼓一人打ち 片岡亮太さん



韓国からの演奏 フルート



韓国からの演奏 ピアノ演奏



韓国からの演奏 金 秉秀さん サックス



台北市立啓明盲学校 台湾からの演奏 1



台湾からの演奏 2



台湾からの演奏 3

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（世界音楽祭） 2 －



気仙沼からの演奏 LOVE SONGERS 1



気仙沼からの演奏 LOVE SONGERS 2



気仙沼からの演奏 LOVE SONGERS 3



新宿フルートアンサンブル 1



新宿フルートアンサンブル 2



新宿フルートアンサンブル 3



筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科 1



筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科 2

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（世界音楽祭） 3 －



筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科 3



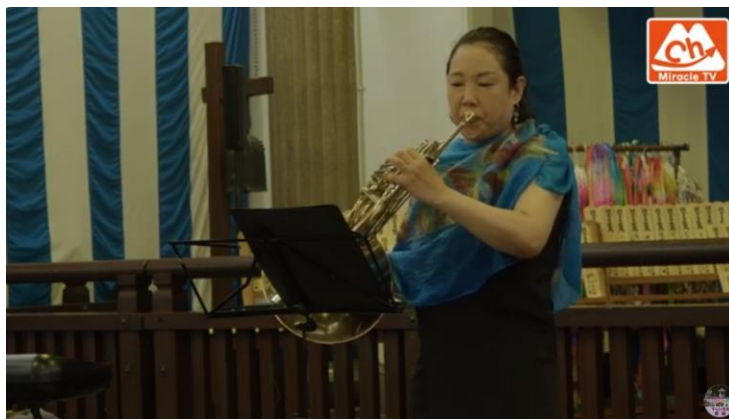
UNO エ房 ハンドベル 1



UNO エ房 ハンドベル 2



UNO エ房 ハンドベル 3



アジャリア 1



アジャリア 2



アジャリア 3



アジャリア 4

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（世界音楽祭） 4 －



白井崇陽さん ヴァイオリンの演奏 1



白井崇陽さん 大石亜矢子さん 勇気之歌



白井崇陽さん ヴァイオリンの演奏 2



三木靖子さん 竹DSさん 大石亜矢子さん



大石亜矢子さん 竹DSさん



大石亜矢子さん



Mikumiさん エビカニクス 1



Mikumiさん エビカニクス 2

－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（世界音楽祭） 5 －



Mikumi さん にじ



心の唄バンド と 木谷正道さん 1



心の唄バンド と 木谷正道さん 2



心の唄バンド と 木谷正道さん 2



出演者のみなさんと会場のみなさんと 最後に「故郷」



音楽祭 最後にみんなで「故郷」を歌う



－ 第 11 回首都防災ウィーク特番（防災フォーラム 1） 1 －



実行委員長 中林一樹 挨拶



共催団体 東京都慰霊協会住吉理事長 挨拶



共催団体 東京いのちのポータルサイト瀧澤理事長 挨拶



中林一樹 基調講演



フォーラムⅠ コーディネーター 浅野史郎さん挨拶



フォーラムⅠの様子 Ⅰ



浅野史郎さん 山中美恵子さん



大石亜矢子さん 白井崇陽さん 竹DSさん



古本聡さん 柴本礼さん 岡本博さん



フォーラム1の様子 2



フォーラム1の様子 3



手話通訳 佐野和子さん 司会 岡野谷純さん



大石垂矢子さん



岡本 博さん



古本 聡さん



柴本 礼さん

ー 第 11 回首都防災ウィーク特番（防災フォーラム 1・口笛）ー



白井崇陽さん



竹 DS さん



山中美恵子さん



フォーラム I 後ろから



YOKO さんの口笛 1



YOKO さんの口笛 2



YOKO さんの口笛 3

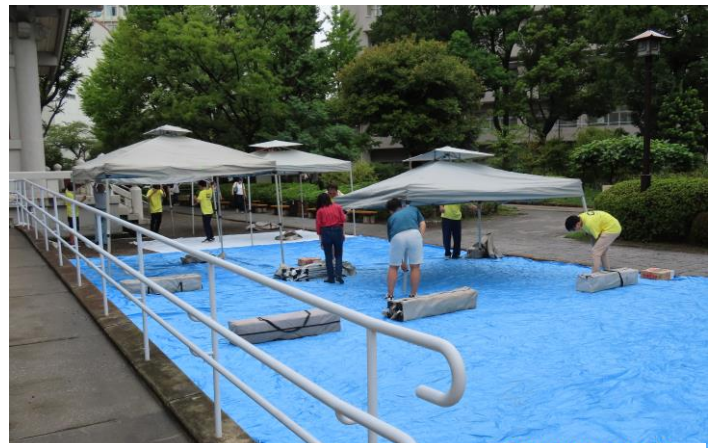


YOKO さんの口笛 4

— 第11回首都防災ウィーク特番（野外イベント）1 —



大船渡から届いた新鮮なサンマ1000匹



サンマブースにみんなでテントを張ります



さあ、炭の調整をして準備をはじめます



キラリと光る、美味しそうなサンマたち



さんま焼き師の皆さま、にこやかな笑顔で



さんま焼き師の皆さま、真剣に丁寧に



ミュージシャンの白井さんと大石さんも並びました



フォーラム2に登壇して下さった小野議員も

ー 第 11 回首都防災ウィーク特番（野外イベント） 2 ー



少し焦げてるけど美味しくいただきます



サンマ整理券配布の列



3人でハイポーズ！！



きいちゃんの災害避難ゲーム 岡田さんのブース



UIFA JAPON の防災カフェコーナー 1



UIFA JAPON の防災カフェコーナー 2



UIFA JAPON の防災カフェコーナー 3



UIFA JAPON の防災カフェコーナー 4

ー 第 11 回首都防災ウィーク特番（野外イベント） 3 ー



本部の様子 1



本部の様子 2



感謝状をいただきました！



黙禱の様子



千葉工大とカムカムのみなさんのブース



飲食コーナーも大人気！



入口からみたメインイベント当日の様子



首都圏さんりく大船渡人会の皆さまへ感謝

— 第8回碁石海岸で囲碁祭り（出発・開会式準備） —



みんなで新幹線に乗って大船渡に向かいます



リアスホールへ到着～！！



まずは、腹ごしらえ 1



まずは、腹ごしらえ 2



映像出しのチェックもOKです



ミュージシャンの立ち位置チェック



来賓の方々が続々とお越しくださいました



そろそろ開会式がスタートします

— 第8回碁石海岸で囲碁祭り（出発・開会式準備） —



ご来賓の皆さまの紹介 1



ご来賓の皆さまの紹介 2



主催者挨拶



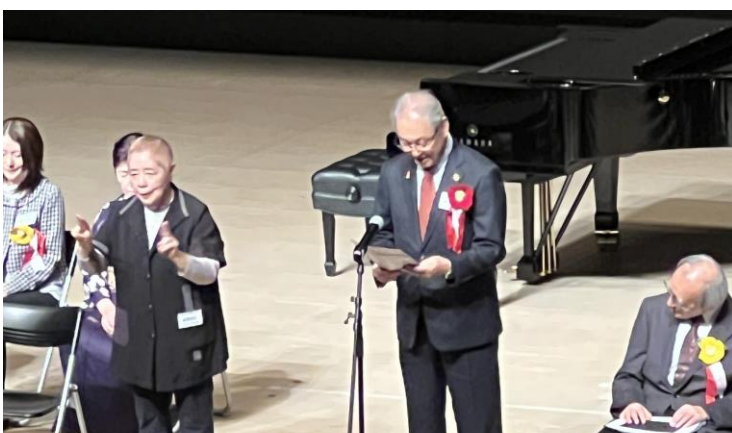
会場の様子 1



会場の様子 2



淵上清市長 ご挨拶 1



淵上清市長 ご挨拶 2



会場の様子 3

ー 第8回碁石海岸で囲碁祭り (開会式・フォーラム・演奏)



くす玉が開きました！ 信田茂成八段



フォーラム (岡田結美子六段 大石垂矢子さん 白井崇陽さん)



古本さん、柿島さん、木谷さん、大和田さん、鈴木さん



フォーラム 風景1



フォーラム 風景2



白井崇陽さん、古本聡さん、柿島光晴さん



コーディネーター浅野史郎さん、鈴木達雄さん、濱守栄子さん



アジャージャ (山村優子さん、片岡亮太さん)

— 第8回碁石海岸で囲碁祭り（記念演奏、囲碁音楽神社） —



白井崇陽さん・大石亜矢子さん 演奏 I



大石亜矢子さん・竹DSさん 演奏



濱守栄子さん I



濱守栄子さん 2



みんなで演奏



囲碁神社 竹灯かりコンサート アジャーリアの演奏



大石亜矢子さんの演奏



白井崇陽さんの演奏

— 第8回碁石海岸で囲碁祭り（囲碁音楽神社） —



LOVE SONGERS が気仙沼から来てくれました



松本玄太さん、末崎町出身 濱守栄子さん



竹灯かりコンサート 全体像



Mikumi さん&原香織さん 地元のお子さんと一緒に！



心の唄バンドと木谷正道さん、大石垂矢子さん



心の唄バンドと木谷正道さん



地元のミュージシャン 榎田さん



板垣剛さん のこぎり演奏

— 第8回碇石海岸で囲碁祭り（BBQ・おおふなぼーと） —



地元のみなさん BBQ の準備ありがとうございます！



コンサートのあと、豪華な鮮魚をみんなで頂きました



みんなの分あるからチョット待ってね～！



BBQ 後には、みんなで花火



おおふなぼーと LOVE SONGERS さん



おおふなぼーと 濱守栄子さん



佐野和子さん アジャーリアとセッション



池野さん いつも撮影と音声ありがとうございます

－ 第 8 回碁石海岸で囲碁祭り（2 日目 おおふなぽーと）－



コンサートの後ろでは囲碁ブース



寒い中、熱気のある対局をしています



高橋よう子さんのちりめん細工体験



大人気で生徒さんがいっぱい来てます



ふるさとは今もかわらず



木谷正道さん、竹 DS さん、濱守栄子さん、LOVESONGERS さん、Mikumi さん



「未来の海」の曲をみんなで♪Mikumi さん、白井さん

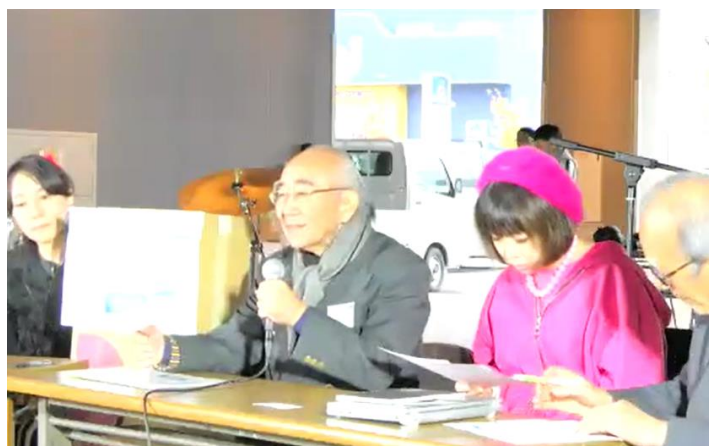


大石さん、原さん、古本さん、竹 DS さん

－ 第 8 回碁石海岸で囲碁祭り（フォーラム・神社・海岸）－



フォーラム「シティコン海底山脈の可能性」



木谷さん、濱守さん、鈴木さん、原さん、新沼さん、古本さん



囲碁神社社額奉納後に記念撮影



碁石神社でも一局



碁石海岸では、虹を見る事ができました



今回の大船渡、みんなで食べる最後の昼食



また、来年も来ます！大和田さんご挨拶

首都防災ウィーク 閉会にあたって

中林一樹

首都防災ウィーク実行委員会代表／東京都立大学名誉教授



第 11 回首都防災ウィークの閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

無事に、この時を迎えることができましたこと、この 3 週間に延 3000 人を超える多くに皆様準備と、対面やオンラインでのイベントにご参加いただいたこと、多くの団体や個人の皆さまにさまざまな企画を準備して開催いただいたことに、まず何よりも心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

とくに会場を提供いただいた東京都慰霊協会、事業支援を頂いた全国市有物件災害共済会、NPO 東京いのちのポータルサイト、竹灯りの竹を切り出していただいた 囲碁のまち大船渡実行委員会、首都圏さんりく大船渡人会ほか多くの皆様のご支援にも、深く感謝いたします。竹明かりが、慰霊協会からのツイッターの発信に、15000 人もが見てくださったようです。

2023 年 9 月 1 日は、大正関東大震災 100 年目の最後の日で、9 月 2 日からは、いよいよ首都直下地震も迎え撃つ、次の百年に入ったのです。

100 年前の関東大震災では、大きな揺れの後、東京と横浜などで火災が発生し、東京・神奈川・千葉を中心に 10 万 5 千人の犠牲者となりました。

ここ被服廠跡の広場では、4 万人もの避難者の方と、持ち込まれた家財道具で溢れかえり、市街地からの火が迫ってそれにも着火し、燃えるものがなかったはずの広場が「火事場」と化して、火災旋風を引き起こし、3 万 8 千人の方が犠牲になりました。吉川仁さんが展示くださった石版画でも、悲惨さが伝わりました。

この関東大震災からの 100 年は、とくに東京には激動の 100 年でした。関東大震災からの東京の復興は、後藤新平の下、1930 年までの 7 年間で、100 年後の今日まで、東京と日本を支え続けてきた、東京の都心市街地を創り出しました。

しかし、同時に東京にはたくさんの方が集まって復興に取り組んだのですが、市街地の周辺に、新たに木造住宅密集市街地も形成していき、1940 年までに東京市の人口は 2 倍に、市街地は 3 倍にも広がりました。

この木造密集市街地は、1945 年 3 月の東京大空襲で、再び大きく被災し、都心市街地も郊外の密集市街地も大部分が焼失し、11 万人もの犠牲者を出しました。全国 114 の戦災都市とともに、東京も戦災復興計画を策定しました、それは多摩のみならず、神奈川、埼玉、千葉など郊外に 「衛星都市」を形成し、区部では焼け跡 2 万ヘクタールを土地区画整理して、緑あふれる市街地とし、幅員が 100m、80m の幹線街路を整備するという「壮大な計画」でした。

でも、114 の地方の戦災都市の復興を優先するという国の方針で、東京の戦災復興は大幅に縮小され、2 万ヘクタールの区画整理もできず、木造密集市街地は再び元のように形成され、さらにどんどん広がってしまいました。

都市の復興は計画どおりにできなかったのですが、日本の社会や経済の復興と発展への活力はすさまじく、1950年代以降の日本は、経済の戦後復興から、奇跡といわれる高度経済成長となり、この世界に誇る日本を築いていきました。

ところが、21世紀になって、日本の社会は急速に高齢社会化してきました。

同時に阪神・淡路大震災以降、大地動乱、大気乱流、大水氾濫ともいふべき、震度7の地震が連発し、大津波が襲い、送電線もなぎ倒す強風の台風、新幹線も水没させるような大水害と、まさに荒ぶる21世紀になっています。

関東大震災100年の節目とは、教訓を学ぶ「これまでの100年」から、これから高齢社会化がますます進む中で、首都直下地震や南海トラフ地震の巨大震災に備え、迎え撃つ「これからの100年」への節目なのです。高齢社会化の中で、「誰一人取り残さない防災」ができる社会を創り出していかなければなりません。でも「誰一人取り残さない」という表現は「助ける」側の表現です。問題は、助ける側の人、若い人が、どんどん減っていているという高齢社会です。ですから私は、どんどん増えていく「助けてもらう側」の人が、私も「誰一人取り残されない」よう頑張るから、みんなで「誰一人も取り残さない」社会にしていましょうね」と、全ての人が“出来ることには取り組むこと”が大切なのです。

これからの100年、「誰にでも、できる自助はある」、その「自助の実践によって一人一人に余裕が出てはじめて、共助が可能となる」、そして「地域に自助と共助があれば、公助を有効に活用できる。」これからの100年は、そんな取り組みの100年にしていかなければならないと思います。

関東大震災100年の節目にあたり、「誰一人取り残さず、誰一人も取り残されない社会」に向けて、「みんなの、みんなによる、みんなのための“つながりあう防災”」をアピールさせていただいて、第11回首都防災ウィークの閉会の挨拶とさせていただきます。一人一人の小さな防災が、みんなを救うのです。

皆様、本当にありがとうございました。新しい首都防災の100年に向けて、第一歩を、踏み出しましょう。

令和5年9月10日 慰霊堂にて